

第3回 生活科研究部研修会

令和7年10月29日（水）

Aブロック（1, 2, 3, 4, 部会） 浜松市立県居小学校

研究授業「あがたい しりたい たんけんたい」

14:00～14:45

授業者：県居小学校 第2学年 小寺 葵 先生

活動場所：図工室

研究協議：図工室 15:00～16:15

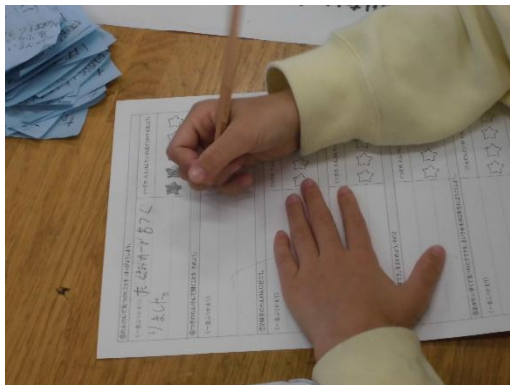
（1）授業内容

1学期に行った「どきどき わくわく まちたんけん」では、地域には様々な場所があり、地域に住む人や場所が自分の生活と関わっていることを学習した。本単元では、地域の人々が地域に寄せる思いに気付くことを目標としている。

本時は「はてなカードからもっと知りたいことをえらぼう」というめあてで学習が行われた。前時で他の班からもらったはてなカード（付箋）をもとに、グループで次の探検でインタビューする内容を決めた。



話し合いの様子



ふりかえりシートの記入



視覚的に要点をまとめる板書

(2) グループに分かれて協議した内容を全体会で共有

【良かった点】

- 子供たちが意欲的に活動していた。
- 写真や模造紙の視覚的支援がされていた。
- 「舞阪小の2年生に伝えよう」という目的が明確であった。
- びっくりカード、はてなカードが良かった。
- 話し合いの視点が明確化されていた。
- 「思い」や「工夫」など、目立たせたいところを色分けしていた。
- 舞阪小の子をびっくりさせたいという単元を通した目的意識があった。

【改善点】

- 舞阪小の2年生に報告しようという目的を再確認させたかった。
- 10 個選ぶことや自分の気持ちを優先していた。付箋の数が多すぎて厳選するのが難しかった。
→「工夫や思いが聞けそうな付箋はこれでは？」と付箋を選ぶ視点を与える。



グループ協議の様子

B ブロック (5, 6, 7, 8, 部会) 浜松市立入野小学校

研究授業「じぶんで できるよ ～えがおいっぱい 大きくせん～」

14:00～14:45

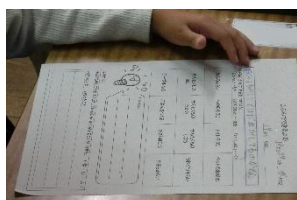
授業者：入野小学校 第1学年 宮崎 沙綾 先生

活動場所：1年1組教室

研究協議：第2生活科室 15:00～16:15

(1) 授業内容

授業は、「うちのしごとはだれがしているかな」というめあてで行われた。家の仕事は誰がしているのかを調べ、「家の人にしてもらっていること」が多いことに気付き、家の人笑顔になれるよう自分でできる家の仕事を手伝ってみたいという思いにつながっていった。



無自覚⇒自覚された気付き
ワークシートで家の仕事を誰がやっているか、色を変えて丸で囲む活動を通して、視覚的に数の違いに気付く。

関連付けられた気付き
友達との交流活動では、友達に質問をする言葉を教師が先に掲示することで、自分との共通点や相違点に気付く。

対象だけでなく自分自身の気付き
交流で気付いたことを発表する活動を通して、自分自身の成長に気付く。家族のために何かをしたいという思いもつ。

(2) グループに分かれて協議した内容を全体会で共有

【良かった点】

- 学習規律が身に付いており、子供同士が温かい言葉を掛け合いながら学習に取り組んでいた。
- 文化や家庭環境の違いを配慮した教師の言葉掛けに、安心して学習に取り組める環境であった。
- 子供たちが取り組みやすいワークシートで、色分けをすることにより自分で気付くことができた。
- 交流の視点を示したことにより、友達との共通点や相違点を意識して話し合いができていた。
- まとめの言葉を合言葉にすることにより、次時への期待につながっていた。

【改善点】

- 自分でやっていることが多いというグループの子供に、やった感想や家の人は何もしていないのか？など、気付きを深める発問があっても良かった。